

児童と青少年の保護とコミュニティサービス省への報告 Protecting Children and Young People and reporting to the Department of Community Services

次の記事は NSW 州保健省が製作したものです。

子供さんを病院などの保健医療サービスへ連れて行くことは、時に親御さんにとって困難な経験となることがあります。保健医療従事者が子供の福祉について憂慮するようになり、コミュニティサービス省(DoCS: Department of Community Services)へ報告しなければならない場合には、なおさら困難です。

全ての保健医療従事者は、児童が虐待されたり、放任・遺棄される危険があるかもしれないと憂慮するようになった場合には、1998 年児童青少年(注意と保護)法(Children and Young Persons (Care and Protection) Act 1998)に基づいて、DoCS へ報告しなければなりません。この点を親御さんが理解されることが大切です。児童がこういった危険にさらされている可能性を示す兆候があった場合には、保健医療従事者は報告せざるをえないのです。これは親御さんを当惑させることがあり、保健医療従事者にとっても困難な場合があります。

児童や青少年は次のようなことが過去にあった場合や、現在その可能性がある場合には「危険にさらされている」ことがあります：

- 身体的虐待や性的虐待または過酷な扱いを受けている。
- 家庭内暴力の生じる家に住んでいる。
- 親の行為が原因で、重度の心理的被害を受けている。
- 食事、安全、衣服、愛情といった大切なものを受けていない。
- 世話をしている者が子供に医療を受けさせることができない、またはその意志がない。

こういった問題については、マルチカルチュラル・ヘルス・コミュニケーションサービスが製作しているこの他のファクトシートで更に詳しく述べられています。

保健医療従事者の役割は、家族の方々と協力して皆さんが健康を維持できるように補助することです。大半の場合には、保健医療従事者は DoCS へ報告をしなければならなくても、ご家族の方々との協力の継続を求めます。児童が虐待を受けていたり、放任・遺棄されているかどうかを立証することは保健医療従事者の役割ではありません。この危険性を DoCS に報告する義務があるだけです。

児童が虐待を受けているかどうかを判断することは DoCS の仕事です。子供の安全、福祉、健康について憂慮していることがある方は、132-111(24 時間。英語のみ)の DoCS ヘルプラインに電話をすることができます。英語で電話をする際に助けが必要な方は、131 450 の翻訳・通訳サービス (TIS) にお電話ください。

ご家族が DoCS と関わりをもつことは困難な経験となることがよくありますが、プラスの経験となる場合もあります。報告があった場合には：

- 調査を行わないという決定がなされる場合もあります。
- 問題が全くないかどうかを調べるために、DoCS はご家族と面会することがあります。
- 親御さんを支援することのできる他の管轄官庁への紹介など、お子さんを安全にするための方法について話し合うため、DoCS はご家族と面会する場合があります。
- 少数のご家族に限り、お子さんの安全を確保するためには裁判による手続きが必要だと DoCs が判断する場合があります。

<http://mhcs.health.nsw.gov.au> のマルチカルチュラル・コミュニケーションのホームページでは、これ以外にも日本語の保健関連情報をご覧いただけます。

ここに記載された電話番号は本書出版時において正しいものですが、継続的な更新はされませんので、電話案内で確認する必要がある場合もあります。